

各分科会会場のご案内

No.	分科会名		会場名
1		運営・協力、政策・会則・長期計画、 中間法人連携、事後処理、選挙制度検討、 ライオンズカード推進分科会	2 階 マグノリアホール
2		経理、財務・会計処理分科会	11 階 高 砂
3		指導力養成、会員増強、 エクステンション・リテンション、PR情報、IT、 大会参加、女性参加・家族会員増強分科会	2 階 サンフラワーホール
4		アクティビティ(I) 分科会	3 階 ゴールデンカップ
5		アクティビティ(II) 分科会	11 階 末 広
6		アクティビティ(III) 分科会	3 階 紅 梅

目 次

大会会長挨拶	P. 4
大会委員長挨拶	P. 5
内閣総理大臣祝辞	P. 6
国際会長祝辞	P. 7
国際理事祝辞	P. 8
国際理事祝辞	P. 9
国際理事祝辞	P. 10
国際理事会アポイントィ祝辞	P. 11
CSF IIナショナルコーディネーター、チーム20K・DGメンター祝辞	P. 12
3 3 0 複合地区ガバナー協議会議長祝辞	P. 13
3 3 0 - B地区ガバナー祝辞	P. 14
3 3 0 - C地区ガバナー祝辞	P. 15
御来賓名簿	P. 16
代議員会次第	P. 17
大会式典次第	P. 18
ガバナーズ・アワード受賞クラブ・メンバー一覧	P. 19
C S F II アワード受賞クラブ・メンバー一覧	P. 24
L C I F メルビン・ジョーンズ・フェロー賞受賞メンバー一覧	P. 26
物故会員名簿	P. 30
記念講演者紹介	P. 32
アトラクション	P. 33
出演者紹介	P. 34
各分科会会場のご案内	P. 36
大会運営組織表	P. 37



常陸宮殿下



常陸宮妃華子殿下

御 挨 拶



本日ここに、常陸宮同妃両殿下の御台臨のもと、ライオンズクラブ国際協会330-A地区第54回年次大会を盛大に開催できますことは、会員こそって最も慶びとするところであります。

ご来臨たまわりました皆様方に対し衷心より厚く御礼申し上げます。また、本大会を支えていただく役員各位に対し深甚なる謝意を表する次第であります。

ライオンズクラブが我国に誕生してから56年が経過いたしました。その間、社会情勢は大きく変わってきております。諸先輩の築かれた立派な伝統のおかげもあり、我々の活動も夫々の地域社会から評価を受けておりますが、先輩から受け継いだ伝統を後輩に確実に引き継いで行くために、ライオンズクラブのあり方全般について、現在の時代に即応してるかどうかの検討・改善を加える必要があると考えます。

現在の330-A地区の会員数は5,383名で、ピーク時の約1万名を大きく下回っております。景気を理由にする向きもありますが、景気の回復で解決する問題でもなく、妙案・妙策ありません。我々の進むべき道はただ一つ、“社会奉仕活動を通じて得る感動と、その感動の共有により育まれる会員の絆”を原動力にした“魅力あふれるライオンズクラブ”を確立するところにあると考えます。「感動の共有」をテーマに掲げた本大会において、会員各位の活発な意見交換により、時代に即応した新しい切り口での活動方針の企画・立案が多数生まれてくることを期待いたします。

ご来臨の皆様方が本大会を機に、ますます懇親、友情を深められ、次年度以降のライオンズクラブ活動の充実、発展に貢献されることをご祈念申し上げます。

最後になりましたが、本大会の役員、各クラブ会長・幹事、会員の皆様方に対し、衷心より御礼申し上げますと共に、ますますのご健勝とご多幸を祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

第54回年次大会会長
330-A地区ガバナー

飯田 善孝

御 挨 拶



常陸宮同妃両殿下の御台臨を仰いで、ライオンズクラブ国際協会330-A地区第54回年次大会を、斯くも盛大に挙行できますことは、我々会員一同にとりまして誠に喜ばしいことであり、光栄に感ずる次第であります。ご多用のなか、ご臨席たまわりました皆様に対し、心より厚く御礼申し上げます。

大会委員長として、本大会を成功に導くよう全力を傾注する所存です。ご参加各位のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

今年度、飯田ガバナーは、ライオンズクラブ活動全般について、現在の時代背景に合わせた調整、見直しを提言されています。

我々が各地区で展開中の社会奉仕活動は、それぞれに高い評価を受けておりますが、時代の流れに応じた調整、改善を常に心がけて行くべきであると思ひます。

本大会は重要な決議等を行う場であります。代議員会での報告・論議を通じて、ライオンズ活動が社会全般から、より正確に、より深い理解を得られるよう、時宜に適した方向づけをお願いいたします。

代議員会に引き続いての式典、カクテルパーティ、晩餐会では、大いに交友を深めていただき、本大会のテーマ「感動の共有」を原動力とする“魅力あふれるライオンズクラブ”実現に向けて力強い第一歩を踏み出してください。

“魅力あふれるライオンズクラブ”が、現在の課題である会員増強問題も容易に解決してくれる筈です。世界最大の社会奉仕団体の一員としての我々のさらなる飛躍の契機になることを期待します。

結びにあたり、本大会を支えていただいた役員並びに各クラブ会長以下皆様方に心より御礼申し上げます、ご挨拶といたします。

大会委員長 鳥海 隆

御 祝 辞



ライオンズクラブ国際協会 330-A地区の第54回年次大会が開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

世界最大の奉仕団体であるライオンズクラブ国際協会が「ウィ・サーブ（われわれは奉仕する）」のモットーのもとに、世界の失明を予防しようとするグローバルな運動を進められていることに敬意を表します。イギリスの経済紙で、ライオンズクラブ国際協会がNo.1のNGOであると評価されたことは、貴団体の永続的な奉仕活動の賜物といえましょう。1925年ヘレン・ケラー女史の演説こそ、ライオンズクラブの目指すべき道「盲人の騎士たれ」を示しています。

日本のライオンズクラブ会員は47都道府県に約11万人を数え、3,300のクラブ活動には眼を見張るものがあります。環境奉仕として続けて来られている清掃活動や献血運動をはじめ、青少年健全育成のための薬物乱用防止教育や思春期のライフスキル教育など幅広い奉仕活動こそが、地域の信頼を得て、誠実に日々一生懸命に生きることの証となっているのです。日本は少子高齢化を迎え、さらに最近、格差といった問題も指摘されるようになってきましたが、みなさまがたがひとつひとつ着実に奉仕活動を行うことが、日本の社会を安定化させ、ひいては世界平和につながるものと思います。

最後になりますが、年次大会にお集まりのみなさまのご健勝とライオンズクラブのさらなるご活躍とを祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

内閣総理大臣

福田 康夫

御 祝 辞



ライオン各位

謹啓 このたび、貴地区年次大会にお集りになった皆様に、心よりお祝いのご挨拶を申し上げます。

地区年次大会は、地区内の会員が一同に集い、クラブが成し遂げたひとときを優れた功績や高遠な目標について話し合えるユニークな機会であります。地区年次大会は、さらに、地区のニーズに応えるために各クラブがどのように協力し合えるか、あるいは個々のライオンが新クラブ発展にどのように支援できるか、そういった意見を出し合える機会でもあります。

自分たちのクラブや地区の目標を再評価し、その目標が達成できるような方法を見出すために、地区年次大会ほど適した場はないでしょう。皆さんが地元社会で奉仕活動を実施するにあたって、創造的で新しい方法がないか、どうぞ話し合ってみてください。地元社会で新たに実施できる活動を発見することもあるでしょう。あるいは自分たちのクラブが実施して成功した事業について知らせることで、別のクラブを感化することもできるでしょう。皆さんは仲間のライオンと共にこれまで多くのことを成就してこられました。まだまだ多くの人々が助けを必要としています。皆さんご自身、クラブ、地区内の他クラブ、そして地区が奉仕している地域社会にとって、年次大会への積極的な関わりは有益なことだと確信しております。

「変化への挑戦」に応じて皆さんがご尽力くださるお陰で、ライオンズクラブ国際協会は、他の組織を卓越した奉仕団体として活躍し続けることができます。これからも、益々奉仕に励んでご活躍くださるよう、心からお祈り申し上げます。

謹白

国際会長

マヘンドラ・アマラスリヤ

御 祝 辞



第54回330-A地区年次大会が、熱心な多数の会員出席のもと、盛大に開催されますことに
対し心よりお祝い申し上げます。

飯田善彦ガバナーをはじめ、貴地区の関係者の皆様方が一丸となってライオニズムの高揚と奉
仕に励んだ結果が本日の年次大会として結晶し、その成果が皆様に報告されますことは、貴地区
の将来につながる素晴らしい成果であると信じております。

私は、2006～2008年の国際理事として現在会員委員会に所属し、衰退減少傾向にある会
員の増強に取り組んでおります。ライオンズの崇高な理念を実現し続けるために、会員増強の必
要性を痛感しつつ、そのために何が求められているか、何をすべきかを常に念頭に置きながら活
動を続けておりますので、皆様のご理解とより一層のご協力をお願い申し上げます。

今期アマラスリヤ国際会長は、「変化への挑戦」をテーマにあらゆる分野での皆様の積極的な参
加と活動を提言し、周知のとおり着々と成果が上がっておりますが、特にその目標の中でも、現
在最も重要なテーマは2005年香港の第88回国際大会でスタートしたCSFⅡであります。

最終年を迎え、挑戦目標である2億ドル達成のため全世界のライオンが取り組んでおります。
その中で、日本の果たす役割は特別大きく、日本の目標額5,100万ドルは、モデルクラブの誓約
を含めほぼ達成しており、テーサップ・リーCSFⅡ委員長（元国際会長）は、「日本の貢献度は
世界一であり、日本を抜きにしてこの目標達成は考えられない」と最大限の称賛と感謝の意を表
しております。我々日本のライオンズは、大きな自信と誇りを持ってこの成果を受け止めるべきで
あります。その上で最終目標である2億ドルに向かってさらなる努力を重ね、今年6月のタイの
バンコクで開催される第91回国際大会では、我々日本の貢献を大いに祝いたいと考えております。

また、このたび、2009年の米国ミネアポリスにおける第82回国際大会において、日本か
ら国際第二副会長選出すべく機運が盛り上がり、大きく動き出しております。我国から30年近
く国際会長を出していないことを考えると、この動きは大変喜ばしく、皆様方のより一層のご支
援を期待しております。

最後になりましたが、会員および家族の皆様そしてご参会の皆様のご健勝とご多幸を心からお
祈りして本日のお祝いの詞といたします。

国 際 理 事

谷 野 徹

御 祝 辞



年次大会の開催に際して、関係役員各位のご尽力に感謝申し上げ、出席全メンバーの情熱に敬
意を表する次第です。皆様の年次大会が、参加者各々にとって楽しく有意義であり、ライオンズ
同志の絆がさらに深まることを祈念し、ご盛会のお祝いを申し上げます。

年次大会は、一年の総括の会合であり、と同時に次の一年への道筋を立てる大切な場でもあり
ます。議論を尽くし決め事の確認をし、旧交を温める歓びと先への道を共に歩む新しい知己の存
在を感じる、貴重な機会となります。この機会が、それぞれの地区、複合地区、そして日本ライ
オンズにとって、将来への明るい展望を示すものであることを願ってやみません。

現在のライオンズメンバーには、特にクラブや地区そして複合地区の役員を務めるメンバーには、
将来への展望を示す責任があります。過去の隆盛にしがみつき、歴史や伝統を振り返ることのみ
に終始せず、ライオニズムを次の世代に責任を持って承継する、具体的考察と行動が求められて
います。

ライオンズは、世界的にメンバーを減少させています。しかし、このことは世界の全ての国々
で平均的にメンバーが減少していることを意味しません。少し見方を変えれば、日本と米国のメ
ンバー減が、国際協会の会員減少傾向を長引かせているとも理解できます。実際には多くの国で
減少に歯止めがかかりつつあり、隣国である韓国や台湾でも明確に増加を示しています。会員増
強の重要性は私たち全員が承知していることです。毎年の国際会長の言葉を待つまでもなく、若
手と女性の招請が避けて通れないことについても同様です。しかし、現実には日本だけが取り残
されつつあることを認識しなければなりません。OSEALフォーラムなど、近隣国のライオン
が集う機会を見れば明らかですが、多くの女性と若手のメンバーが楽しく明るくライオニズムの
高揚に貢献し、地区ガバナーなど重要な役員として活躍をしています。日本には日本なりの環境
と特性があることも事実ですが、多くの女性と若手が奉仕活動の機会を待っていることも確かな
ことでありましょう。

年次大会を機に、各クラブや地区が具体的に次年度への路を歩み始めることとなります。この
機会にも、奉仕活動の源であるメンバー増強の革新的戦略を練り、願わくは、老若男女が楽しく
集うライオンズの実現を目指して頂ければと、希う次第であります。

国 際 理 事

後 藤 隆 一

御 祝 辞



一年間の集大成が発表される年次大会が、盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。
日本のライオンズのメンバーのクオリティは、世界の中で最高であります。アクティビティは日本全体で60億にも達しています。ひとつの団体で、これほどの奉仕が出来る団体はありません。本年度のNGOのランキングにおいて世界で一番の奉仕団体にランクづけされましたのも見返りを期待しない奉仕活動が認められた結果だと思えます。CSFⅡにおいても、日本は世界の40%を拠出するという素晴らしい結果を得ることが出来ました。これもひとえに日本の全メンバーのおかげだと感謝している次第です。また、LCIFへの申請も活発になって、本年度は金額では1億円を超える申請がありました。日本からの申請については100%執行されています。これからもたくさんの申請がされることを期待しております。

6月には、タイのバンコクで国際大会が開催されます。東洋東南・アジアフォーラム、国際大会等は、同じ「奉仕」という目的を持ったたくさんの人々に出会うことができ、一度、経験されますと、その素晴らしさを実感していただけたと思います。

ライオンバッジが世界中の仲間との素晴らしい出会いをもたらしてくれます。みんなで国際大会に参加しましょう。そして、マヘンドラ・アマラスリヤ国際会長のテーマ「変化への挑戦」を実行しましょう。

国際理事

南松良次

御 祝 辞



地区年次大会が盛大に開催され、心からお慶び申し上げますと共に、地区ガバナーを始め、大会委員長並びに関係者の皆様に心からお祝いを申し上げます。

さて、貴地区はこの一年間、地区ガバナーを中心に素晴らしい成果を上げてこられましたことに、深い敬意を表します。

特に、本年度は、地球上から予防と治療可能な失明をなくそうとの失明と戦うためのキャンペーンCSFⅡの3年目最終年度であります。日本は、このCSFⅡの中心的役割を担っていますが、その日本担当国際委員として、貴地区の皆様方には大変なご協力を賜っておりますことに厚くお礼を申し上げます。

また、本年度は、国際理事会アポインティとして、この1年間アマラスリヤ国際会長のもと、12年ぶりに、再び理事会メンバーとして参加し、国際協会の運営の一翼を担っております。明日のライオンズをどうすべきか、守るべき素晴らしい伝統、変えるべき不都合な伝統、人類のため、メンバーのため、最善の策は何かを常に求め、示すことがリーダーのつとめと考え、研鑽に励んでおります。

奉仕することの素晴らしさ、理解し合うことの楽しさ、地球を守ることの大切さをライオンズクラブは教えてくれます。ライオンズクラブに自信と誇りをもつと共に、世界200カ国以上に存在するこの偉大なるライオンズの明日のために大いに論じ、即行動すべきだと思います。

日本ライオンズはその叡智を集結し、世界ライオンズの明日のために行動すべき時です。

バンコク国際大会に一人でも多く参加し、投票し、日本が統一した意志を示すことこそ最も必要なことです。明日のライオンズクラブ国際協会のため皆様のご支援のもと、私は役立ちたいと考えています。

どうか、今日のこの素晴らしい年次大会を契機に、貴地区の未来への歩みが、日本の世界への歩みへと発展させていただく礎となることをご期待申し上げます。

今後の貴地区のご発展と、本地区大会のご成功を心からお祝い申し上げ、お慶びの言葉と致します。

国際理事会アポインティ

福井公憲

御 祝 辞



新緑が目染める爽やかな今日の良き日、330-A地区第54回年次大会が常陸宮同妃両殿下のご台臨を賜ると共に、伏見元国際理事・古郡議長を始め330各地区ガバナーのその他多数のご来賓そして330-A地区内、多くのメンバーご参会にて、飯田ガバナーの集大成として盛会に開催されますこと、誠に同慶の至りに存じます。

年次大会は、地区内メンバーが一堂に介し、ガバナーを頂点としたキャビネット運営・各委員会活動・クラブ活動の成果を共に喜び、会員相互の友愛の絆を深め、来期への方針・決意を新たに作る大切な節目の一日です。

今期、飯田ガバナーの基本理念は、「感動の共有」でありました。ガバナーの奉仕活動に対する情熱・そして卓越した指導力と実行力は多くのメンバーに感動を与え、その心は共有されたことでありましょう。

飯田ガバナーを始め、地区内各クラブ・メンバー各位によるライオニズムの高揚に対し、敬意を表します。

今期、アマラスリヤ国際会長の国際プログラムは、「チーム20K会員増強」と「CSFⅡ達成」であり、国境を越えて人道愛に燃えた「目の障害者に愛の手を」のCSFⅡも最終年度でありましたが、ガバナーの深いご理解と強力なリーダーシップに応え、各クラブ・メンバー各位が街頭募金や各種チャリティ活動を実践されたほか、多数のメンバーがMJF 1,000ドル献金に協力され、330-A地区は見事、目標達成の運びと成りました。

クラブ・メンバー各位のご支援・ご協力に衷心より厚く感謝申し上げます。

そしてメンバーの高齢化・例会のマンネリ化・低迷する日本経済等により会員減少が続くなか、今期 チーム20K会員増強に加えて 330-A地区は「感動の共有」を基本とし、全日本34地区中、突出した会員増強の実績を出していることにも深甚なる敬意を表する次第であります。

結びに本日の大会を契機に330-A地区・各クラブが輝かしい未来に向かってさらなる飛躍発展をされます事を祈念し祝辞と致します。

CSFⅡナショナルコーディネーター
チーム20K・DGメンター

山浦 晟暁

御 祝 辞



第54回330-A地区年次大会開催にあたり、心から慶祝申し上げます。

集大成ともなるこの大会は、感慨も一入というところでしょう。「感動の共有」を地区運営のテーマとして貴地区メンバーの期待を一身に集め、大活躍の日夜でした。アマラスリヤ国際会長の“変化への挑戦”を積極的に行動に移し、大きな成果を挙げられました。中でもその顕著な成果の一つに「統一奉仕日」を見事に実践され、話題になりました。その効果は予想以上に大きく、ライオンズの名を名実ともに広く世間に知らしめる結果を呼びました。

私は330複合地区の議長として、飯田善彦ガバナーの勇躍をつぶさに拝見する立場にありましたが、その行動力には深甚なる敬意を払っております。

飯田ガバナーの大胆にして華麗なる発想や行動を支えたものは、地区メンバーの熱いエールと協力は言うまでもありませんが、ガバナー自身の強靱な精神力と同時に、ライオンズの歴史を創ってきた諸先輩への素直な敬意だろうと思います。先輩からの教示への謝と真摯な姿勢にあると感じます。

寛大な心で複合地区活動にも協力を惜しまないバイタリティに、私は議長として助けられたことも幾度となくありました。改めて感謝申し上げます。

飯田ガバナーは“智に立って情の心”をもって地区運営にあたられたと聞いております。この心を運営に反映し生かされた結果、貴地区が揺るがぬ存在であることをより一層広く知らしめることになったと確信いたします。

今後も、この精神を大切にメンバーや後輩の良きリーダーとなって益々地区のため、延いては日本ライオンズ・世界のライオンズのために大いに働きご活躍なさいますことをご祈念申し上げます。祝辞といたします。

330複合地区 ガバナー協議会
議長

古郡保郎

御 祝 辞



風薫り花々が咲き誇る素晴らしい季節に、A地区第54回地区年次大会を挙行されますことをB地区メンバーを代表し心よりお慶び申し上げます。

また、1917年にメルビン・ジョーンズの呼びかけにより、アメリカ合衆国においてライオンズクラブの活動が始まり、90回目の記念すべき国際大会を発祥の地であるシカゴに於いて行われ、ガバナーとなられた飯田ガバナーには同期ガバナーとして共に喜びを分かち合いたいと思います。

今期、マヘンドラ・アマラスリヤ国際会長は、「変化への挑戦」をテーマに組織の変化、意識の変化を強く語られ、CSFⅡの目標達成への努力は勿論のこと、会員増強に対する“20Kプログラム”を打ち上げ、そして多くの改革に取り組んでこられました。そして飯田ガバナーは“感動の共有”を掲げ、地区組織の改革、地区経費の再考に始まり、数多くの改革に努められ実績を上げてこられました。その卓越した指導力のもと、なかでも10月8日のライオンズ・デー、12月9日の世界障害者デーには殆どのクラブが街頭に立ち、献血の呼びかけやCSFⅡに対する募金活動を行ったと聞いております。その活動は、ライオンズクラブの大きなPRにもなったと考えます。

本日この意義ある地区大会を契機とされまして輝かしい未来に向かって貴地区のさらなる発展と飛躍を念じ、会員そしてご家族の皆様のご健勝とご活躍を心からお祈りしてお祝いの詞といたします。

330-B地区ガバナー

飯田 健一

御 祝 辞



陽春の砌、大会テーマ「感動の共有」のもと、330-A地区第54回年次大会が、盛大に挙行されますこと、誠におめでとうございます。

貴地区は、全日本34準地区の中心的牽引役として、また330複合地区の中核として素晴らしいリーダーシップを発揮され、まさに全日本の範たる地区であると敬意を表する次第であります。

今期マヘンドラ・アマラスリヤ国際会長は「変化への挑戦」を国際会長テーマに掲げ、運営の基本理念を示されました。

貴地区におかれましては、「奉仕活動を通して得る感動こそ会員の絆」というガバナーズテーマのもと、この一年間、会員の絆に支えられた密度の濃い奉仕活動を展開され、高く評価される業績を積み重ねられてきました。

奉仕活動から得る感動を共有することこそが、会員同士の絆を力強く結びつけ、さらなる新しいアクティビティへの挑戦に結びついているものとする次第でございます。

私も今期「改革は足元から」を掲げ、「守ろう地球環境」を合言葉に、地域に密着した環境保全アクティビティの実行に全力を注いでおります。

急速に移りゆく時代の変化の中で、メンバーの意識の改革に焦点をあてて改革に取り組む一方、素晴らしいメンバーの皆様と手を繋いだ奉仕活動を積極的に展開される貴地区の益々のご発展とメンバー各位のご健勝をご祈念申し上げまして、ご祝辞とさせていただきます。

330-C地区ガバナー

金子 正之